

## - 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県において 9 月 24 日時点で報告された新型コロナウイルス感染者は 5,088 人となりました。感染の再拡大防止のため、県民の皆様には引き続き感染回避行動の徹底をお願いします。軽い頭痛や喉の違和感など、発熱ではない軽い症状の感染事例も確認されています。少しでも体調不良がある場合は出勤・通学を見合わせ、あらかじめかかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター (089-909-3483)」に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ⇨



### 発生動向の概況

**RS ウイルス感染症**の定点当たり報告数は、第 36 週 4.5 人から第 37 週 3.3 人と急減しましたが、今治保健所、八幡浜保健所、宇和島保健所では多い状況が続いています。この疾患は、2 歳以下の乳幼児を中心に流行し、主な症状は発熱や鼻汁、咳などですが、特に 6 ヶ月未満の乳児では重症化することがあります。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行しましょう。

夏の感染症が例年より遅れて流行しています。**手足口病**の定点当たり報告数は、第 36 週 1.3 人から第 37 週 1.7 人と増加し、今治保健所で多発しています。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は、第 36 週 0.8 人から第 37 週 1.3 人と増加し、八幡浜保健所で多い状況です。これらの感染症は患者の鼻やのどの分泌物のほか、便、水疱内容物などによって感染が広がります。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行するとともに、タオルやコップの共用は避けましょう。

### 県内での感染症発生状況

#### 全数把握感染症

- 二類感染症：結核 9 例
- 四類感染症：日本紅斑熱 1 例 (60 歳代女性)      レジオネラ症 1 例 (70 歳代男性)
- 五類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例 (60 歳代女性)
- クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例 (70 歳代女性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (70 歳代男性)
- 梅毒 1 例 (20 歳代女性 2021 年県内累計 55 例)

新型コロナウイルス感染症： 220 例

\*その他、結核の届出が第 35 週に 1 例、梅毒の届出が第 35 週に 1 例、新型コロナウイルス感染症の届出が第 30 週に 2 例、第 31 週に 4 例、第 32 週に 7 例、第 33 週に 21 例、第 34 週に 4 例、第 35 週に 3 例ありました。

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	3.3	急減。今治保健所、八幡浜保健所、宇和島保健所で多い。
手足口病	1.7	増加。今治保健所で急増。
ヘルパンギーナ	1.3	増加。八幡浜保健所で急増。

#### 解析評価委員のコメントから

RSウイルス感染症： [東予] 減少してきました。 [中予] 減少しています。

[南予] 相変わらず多数発生認めています。

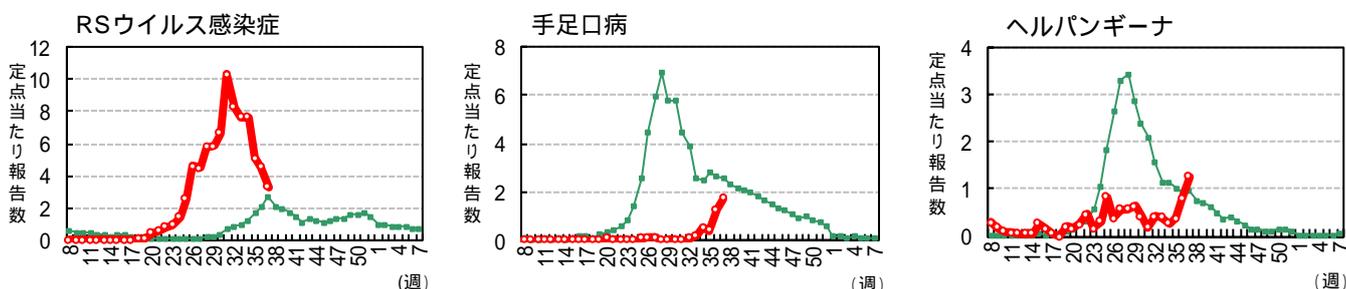
手足口病： [東予] 西条では少数ですが、今治市ででているようです。 [中予] やや増加しています。

[南予] 多数発生しています。前週より若干減少しています。

ヘルパンギーナ： [東予] 今治市で少数みられます。 [中予] 横ばいです。

[南予] 多数発生しており前週より増加しています。

過去 30 週の動向 ( —●— : 過去 30 週の動向, —●— : 過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.lg.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.lg.jp) までお願い致します。

## 病原体検出情報

令和3年9月21日現在

- 感染症流行予測調査事業の一つであるブタの日本脳炎ウイルス抗体調査の結果を右表に示しています。9月7日採血分のブタのHI抗体陽性率は0%、9月15日採血分は50%（10例中5例）でした。また、9月15日の陽性例のうち1例は最近感染したことを示す2ME感受性抗体でした。

本調査は複数のブタ飼育地域を対象に実施しており、飼育地域等により陽性率が異なる場合もあります。蚊の発生が多い時期はもうしばらく続きますので、引き続き、蚊に刺されないように注意しましょう。

詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県におけるブタの日本脳炎抗体保有状況』 ➡



### 愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体 <sup>1)</sup> 陽性数	2ME感受性抗体 <sup>2)</sup>	
			検査件数	陽性数
7月 6日	10	0	-	-
7月 14日	10	9(90%)	9	1
7月 27日	10	1(10%)	-	-
8月 3日	10	0	-	-
8月 17日	10	0	-	-
8月 25日	10	8(80%)	8	1
9月 7日	10	0	-	-
9月 15日	10	5(50%)	5	1

1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性としました。

2) 最近感染したかどうかわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

- 第36週、第37週に今治及び松山市で採取された手足口病患者検体からコクサッキーウイルスA6(CA6)が2例検出されました。

手足口病は、主にコクサッキーウイルスA16、CA6、エンテロウイルス71などのエンテロウイルスにより引き起こされる急性ウイルス感染症です。乳幼児を中心に流行し、口腔粘膜及び手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状としますが、まれに髄膜炎や急性脳症などの中枢神経系の合併症を引き起こすことがあります。近年、県内ではCA6による手足口病が数年おきに大きな流行を繰り返す傾向があり、注意が必要です。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行しましょう。

### 過去5週 検出病原体

(2021年8月16日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
36	9/6~9/12	今治	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
37	9/13~9/19	松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1

### 月別病原体検出結果

### 臨床診断別検出結果 (2021年7月以降採取検体)

検体採取月		2021						合計
検出病原体		4	5	6	7	8	9	
ウイルス	コクサッキーA4	1		1				2
	コクサッキーA6						2	2
	パラインフル3			5				5
	アストロ	1						1
	ノロ	1						1
ウイルス計		3		6			2	11
細菌	A群溶レン菌	1	1					2
細菌計		1	1					2

検出病原体	手	合
	足	計
コクサッキーA6	2	2
ウイルス計	2	2

注) 表中の検出数は9月21日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。







全国 定点把握感染症 2021年 第35、36週 (2021.8.30～9.12)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
愛媛県		5.1	.1	.5	3.6	.1	.4	.1	.5	.4	.0		.6					
近畿県	香川県	3.0	.0	.3	4.6	.1	.1	.0	.2	.1	.1		.2					
	徳島県	2.8	.2	.1	5.5	.3		.0	.5	.1							.1	
	高知県	3.5	.0	.5	1.1	.1	3.2	.0	.2	1.1			.7					
35週	全 国	.0	1.9	.1	.4	2.2	.1	.6	.0	.3	.5	.1	.0	.2		.0	.0	.0
週	北海道		4.9	.2	1.3	.6	.0	.1		.2	.1	.1		.1				.1
	東北		2.6	.1	.5	1.8	.1	.8	.0	.4	.3	.1		.2				.1
	関東		1.2	.1	.2	1.8	.1	.1	.0	.3	.2	.1		.3		.0		.0
	甲信越北陸		4.6	.1	.6	2.1	.1	.1	.0	.4	1.5	.1	.0	.0		.0	.0	.1
	東海		.5	.1	.3	1.7	.1	.0	.0	.2	.7	.0	.0	.1		.0	.0	.1
	近畿	.0	1.1	.2	.3	2.4	.1	.3	.0	.3	.4	.0	.0	.1		.0	.0	
	中国四国		3.5	.1	.4	2.9	.1	.5	.0	.4	.6	.0		.4				.0
九州沖縄	.0	1.3	.3	.7	3.6	.1	3.0	.0	.5	.6	.1		.5		.0	.0	.0	

(9.8集計)

愛媛県		4.5	.1	.4	4.1	.0	1.3	.0	.5	.8			1.5					
近畿県	香川県	2.0	.0	.3	4.6		.1		.3	.3	.0							
	徳島県	1.8	.0	.1	6.0	.1			.3	.2	.0							
	高知県	1.7	.2	.1	.7	.1	2.5		.2	1.4	.0		.3					
36週	全 国		1.5	.1	.4	2.2	.1	.7	.0	.4	.5	.1	.0	.2		.0	.0	.0
週	北海道		4.0	.2	.9	.6	.1	.0	.0	.2	.0	.1		.1				
	東北		2.1	.1	.5	1.9	.1	.8	.0	.4	.3	.0	.0	.2		.0	.0	.0
	関東		.9	.1	.2	1.9	.1	.1	.0	.4	.2	.1	.0	.3		.0	.0	.0
	甲信越北陸		3.7	.1	.5	1.9	.1	.0	.0	.3	1.1	.1		.1		.0		.1
	東海		.3	.1	.4	1.5	.0	.0	.0	.3	.7	.0		.1		.1		.0
	近畿		.8	.1	.3	2.7	.1	.5	.0	.4	.5	.0		.1		.0	.0	
	中国四国		2.8	.1	.4	3.0	.1	.6	.0	.4	.7	.0		.4		.0	.0	
九州沖縄		1.3	.2	.6	3.5	.1	3.5	.0	.4	.8	.1		.3		.0	.0		

(9.15集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

